



地域密着型金融の取り組み
~平成24年度中間期の進捗状況について~

平成24年12月

株式会社 **滋賀銀行**



はじめに

当行は、平成22年4月に「**地域密着型金融の推進に関する基本方針**」()を公表しております。

本報告は、この方針に基づいた当行の「**地域密着型金融推進に関する個別取り組みの状況** (平成24年9月末現在)」についてお知らせするものです。

「**地域密着型金融の推進に関する基本方針**」の詳細につきましては、当行ホームページ上の「**地域密着型金融の推進**」の項目をご覧ください。

目次

項目	ページ
・地域密着型金融の推進に関する基本方針	P.1
・「3つのブランド戦略」に関する取り組みについて	P.2 ~ P.15
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(1)	P.2
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(2)	P.3
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(3)	P.4
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(4)	P.5
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(5)	P.6
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(6)	P.7
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(1)	P.8
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(2)	P.9
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み(3)	P.10
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(1)	P.11
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(2)	P.12
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(3)	P.13
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(4)	P.14
「CSRのしがぎん」に関する取り組み(5)	P.15
・地域密着型金融の推進に関する数値目標および実績について	P.16

地域密着型金融の推進に関する基本方針



当行は、地域の皆さまとの「共存共栄」を目指し
3つのブランド戦略 ～知恵と親切の提供～を
積極的に展開していきます。

ネットワークのしがぎん

アジアに強いしがぎん

CSRのしがぎん

当行は、「**地域社会との共存共栄**」こそが地方銀行の目指すべき究極の姿であると考えております。

その実現のために、当行は「**自己責任原則に基づく独自経営**」の確立を通して、地域密着型金融の推進を図ってまいります。

具体的には、第4次長期経営計画(平成22年4月～平成25年3月)において、お取引先との相互理解を図るための「**対話力**」の更なる強化に取り組み、「高い付加価値を提供できる金融サービス業」としての態勢を一層強固にして、「**3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～**」(「**ネットワークのしがぎん**」「**アジアに強いしがぎん**」「**CSRのしがぎん**」)の充実と実践に魂を込めて取り組んでまいります。

また当行は、この基本方針に基づき、地域密着型金融の推進に関する3つの視点「お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「地域やお客さまに対する積極的な情報発信」をも踏まえ、当行独自の「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」の具体的な実践に取り組んでまいります。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み(1)



《「野の花応援団」の組織図》

起業の夢を強力にサポートします

「野の花応援団」

- ・起業・新事業創出への支援を一層強化するため、当行は滋賀県をはじめとした行政機関、京滋地区の9大学、証券会社などと提携した、地域密着型のしがぎんニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」を組織(平成14年)し、お取引先のサポートに取り組んでおります。
- ・「産学官・金(金融)」の英知を結集した全国でもユニークなネットワークで、起業や新分野への進出を目指しておられるお取引先に対し、技術評価を含めた経営のサポートや、ファイナンスツールのご提供、株式公開支援などを行っております。
- ・また、ニュービジネスサポート資金(通称「野の花資金」)では、ニュービジネスの「成長性」や「将来性」を目利きし、原則 3,000万円までなら無担保でご融資を行っております。

エコビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

- ・当行は、ニュービジネスの育成が地域金融機関の使命と考え、平成12年度より毎年「サタデー起業塾」を開催しており、平成23年度までの卒業生は、延べ1,705名にのぼります。
- ・平成20年度からは「環境ビジネス」に特化し、平成24年度のテーマは「グリーン&ライフ イノベーション~ジャパンプランド(環境技術・文化)の創造~」とし、「環境」「医療・健康」「地域活性化」に「ネイチャー・テクノロジー」を加え内容を充実させて開催しております。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（2）



「環境力」と「金融力」の融合により「エコビジネス」をサポートします

エコビジネスマッチングフェア2012

- ・環境ビジネスに取り組む企業のサポートを目的として、平成24年7月11日に「『しがぎん』エコビジネスマッチングフェア2012」を開催しました。
- ・このフェアでは、当行の充実したネットワークを活用し、環境ビジネスに積極的に取り組まれている企業さま同士を結びつけることで商流を創出し、今後の新たな事業展開に向けたお手伝いをしております。
- ・今回で5回目の開催となります本フェアは、87社のご出展、1,910名のご来場をいただき、634件の熱心な商談が繰り広げられました。

出展テーマ：環境ビジネスに関連した6分野

- ・新エネルギー/省エネルギー
- ・リサイクル
- ・環境土木建築
- ・浄化(水/土壌/大気)
- ・環境サポート/ソリューション
- ・医療/介護/健康



「エコビジネスマッチングフェア2012」開催の様子

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（3）

「しがぎんビジネスセミナー」を開催

- ・経営戦略のご参考としていただくため、お取引先を対象にした「しがぎんビジネスセミナー」を、平成24年9月24日に開催いたしました。
- ・当日は、第1部で「今、経営に求められる自己変革力とは」を、第2部で「自社株評価と事業承継対策の勘所とは～スムーズな事業承継を行うために今やるべきこと～」をテーマに、情報のご提供しました。



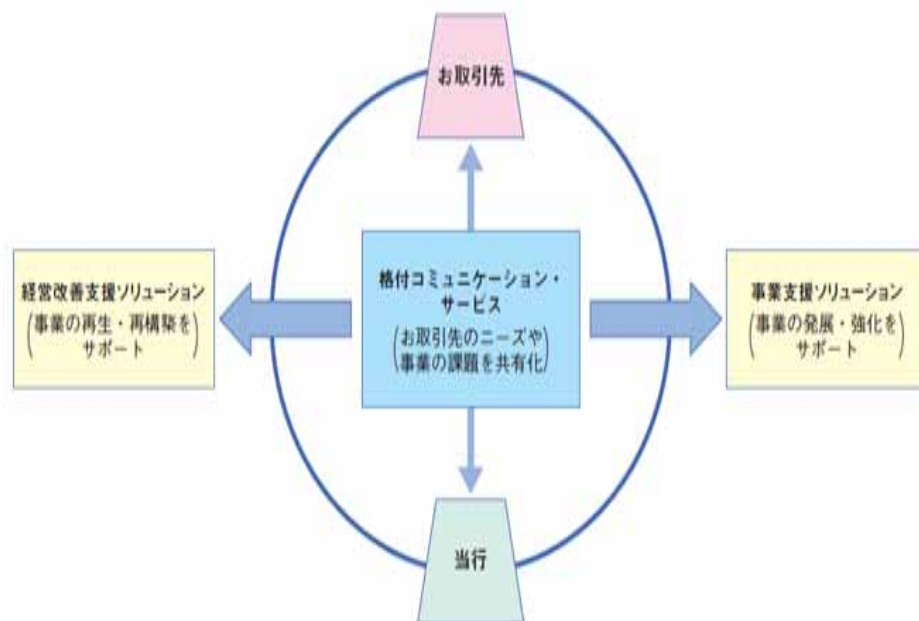
（「太陽光発電セミナー」開催の様子）

事業者の皆さまへさまざまな
ソリューションメニューを提供しています

太陽光発電に関する情報をご提供

- ・平成24年7月に開始された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」により、太陽光発電に対して関心が高まっています。
- ・このような中、当行は、平成24年10月17日に「太陽光発電セミナー」を滋賀県と共催しました。
- ・当日は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度や、太陽光発電設備の導入事例、電力会社との電力購入契約手続や留意事項について、実例を交えた内容で情報をご提供しました。
- ・なお当行では、太陽光発電設備の導入等をご検討いただく事業者さま向けに、「琵琶湖原則支援資金（PLB資金）省エネ・温暖化ガス削減プラン」をご用意しております。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（４）



お取引先の経営改善のために
経営者の皆さまと真剣に向き合います

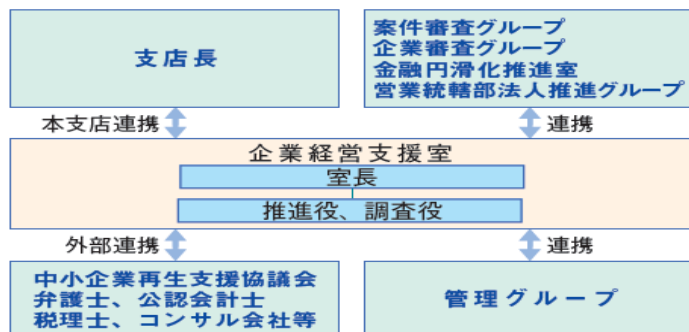
格付コミュニケーション・サービス

- ・当行では、「企業格付」をお取引先と当行をつなぐ合理的なコミュニケーションツールと位置付けております。
- ・このサービスは、格付プロセスを通じて把握したお取引先の「強み」、「弱み」を共有し、問題解決や財務改善を図ることで、お取引先の永続的な経営基盤の構築や企業価値向上を目指すものです。
- ・具体的には、お取引先の経営ビジョンをお伺いしたうえで、当行が認識した課題や問題点を解決するための改善策などを提案、サポートしております。
- ・同サービスは、平成19年8月の開始から平成24年9月末までの間に、延べ6,907回提供しました。今後も、同サービスを活用してお取引先の経営基盤強化を目指してまいります。

経営改善計画の策定サポート

- ・「格付コミュニケーション・サービス」で認識したお取引先の課題や問題点を解決するための改善策の一つとして、「経営改善計画」の策定をサポートしております。
- ・また、策定した経営改善計画の進捗状況は適宜モニタリングし、お取引先の経営改善に向けた取り組みをサポートしております。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（５）



（審査部「企業経営支援室」組織図）

債務者区分を改善（ランクアップ）

- ・経営改善に取り組まれているお取引先に対しては、「審査部企業経営支援室」を中心に「財務改善」や「事業再構築」などの「経営改善計画」策定支援や「再生スキーム」の作成・実施といった一歩踏み込んだ支援活動を展開しております。平成24年9月までにお取引先842先の経営改善計画策定をサポートしました。
- ・同室が担当するお取引先220先（平成24年9月末現在）に対し、このような取り組みを行った結果、平成22年4月から平成24年9月末までの間に累計19先、また「企業経営支援室」開設以来143先の債務者区分を改善（ランクアップ）することが出来ました。
- ・事業再生は、息の長い取り組みが必要であり、成果がすぐに表れる性質のものではありませんが、今後とも共存共栄の理念の下、「知恵と親切を提供するビジネス」に努めてまいります。

お取引先の経営改善のために 経営者の皆さまと真剣に向き合います

経営支援の体制強化

- ・営業店と審査部、営業統轄部の専門スタッフが、お取引先のご要望や経営状況に応じた「事業支援」ならびに「経営改善支援」に積極的に取り組んでおります。
- ・具体的には、売上の向上や経費の削減、および財務内容の改善等に向けたご提案や、お取引先の課題や問題点を解決するための「経営改善計画」策定支援、さらに組織再編、事業譲渡、M&A等多面的な再生スキームの構築を行っております。
- ・平成21年12月には、円滑な金融仲介を果たすべく審査部内に「金融円滑化推進室」を新設、平成22年2月には、事業支援を行う専門スタッフを営業統轄部「法人推進グループ」に増員しました。また、平成22年10月には経営改善に取り組まれているお取引先への対応を更に強化するため、審査部「企業経営支援室」のメンバーを増員し、更なるコンサルティング機能の態勢強化に努めております。
- ・今後も、本支店一体となった企業再生支援の一層の充実を図ってまいります。

「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み（6）

お取引先の経営改善のために経営者の皆さまと真剣に向き合います

【貸付けの条件変更等の実施状況の主な内容（平成24年9月末）】

債務者が中小企業者である場合 (単位:百万円・件)

	貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	貸付けの条件の変更等の実施状況			
		うち、実行に係る貸付債権	うち、謝絶に係る貸付債権	うち、審査中の貸付債権	うち、取下げに係る貸付債権
件数	19,434	18,076	411	281	666
金額	801,730	767,111	11,945	9,729	12,944

債務者が住宅資金借入者である場合 (単位:百万円・件)

	貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権	貸付けの条件の変更等の実施状況			
		うち、実行に係る貸付債権	うち、謝絶に係る貸付債権	うち、審査中の貸付債権	うち、取下げに係る貸付債権
件数	1,239	965	91	35	148
金額	15,818	12,354	1,144	284	2,035

金融円滑化に関する取り組みについて

当行は、平成19年4月制定の「CSR憲章」において「地域社会との共存共栄」を経営理念の一つとして定め、地域社会の持続的な発展を目指して多面的に貢献すべく、金融仲介機能の発揮に積極的に取り組んでまいりました。

また、中小企業金融円滑化法施行後においても、地域金融機関として金融円滑化への取り組みを一層強化するために、「金融円滑化管理方針」を制定のうえ態勢を強化し、お取引先の経営改善等のサポートにきめ細かく対応をしております。

中小企業金融円滑化法は平成25年3月に期限を迎えますが、当行は同法の期限到来後についても従前と変わらず、お取引先の経営課題や資金繰り等のご相談にお応えいたします。加えて、「知恵と親切の提供」によるコンサルティング機能を積極的に発揮し、それぞれの経営課題に応じた最適な解決策をお取引先の立場に立って提案し、十分な時間をかけてサポートしてまいります。

なお、本方針の具体的内容や貸付けの条件の変更等の実施状況等、詳細については当行ホームページ「金融円滑化への取り組み」をご覧ください。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（１）



（滋賀銀行バンコク駐在員事務所の入居するオフィスビル）



（滋賀銀行バンコク駐在員事務所・テープカットの様子）

アジアビジネスを積極的にサポートします

近畿の地方銀行で初めてバンコク駐在員事務所を開設

- ・平成24年2月9日、タイ・バンコクに「滋賀銀行バンコク駐在員事務所」を開設しました。
- ・タイは中国に次いでお取引先の進出数が多く、FTA(自由貿易協定)により今後ますます輸出拠点としての地位が向上することもあり、今後一層のお取引先の進出が見込まれています。
- ・バンコク駐在員事務所では、本店国際部内の「アジアデスク」、香港支店、上海駐在員事務所、各地に派遣している海外トレーニー(研修生)と密接に連携し、現地で東南アジアの企業・金融市場の動向調査や情報収集を行い、ビジネス展開に有効な最新情報をお取引先に提供してまいります。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（2）



（「しがぎん」アジアセミナーの様子）



（日中ものづくり商談会@上海2012の様子）

国内外でアジアビジネスの情報をご提供します

『しがぎん』アジアセミナーを開催

- ・平成5年以来、アジアをテーマに毎年開催している『しがぎん』アジアセミナー」を平成24年11月15日に開催いたしました。
- ・第31回目となる今回のセミナーでは、第一部で「人民元の国際化と活用」について、第二部では「貿易保険を活用したリスクヘッジ」について、専門家より講演いただき、アジアビジネスに関する情報をご提供しました。

中国でもセミナーや商談会を開催

- ・当行は、平成24年9月14日に中国銀行（Bank of China）と合同で、「第2回しがぎん上海セミナー」を開催し、上海市近郊のお取引先44社56名に参加いただきました。
- ・本セミナーでは、人民元の国際化、貿易決済の規制緩和と有効活用について情報をご提供しました。セミナー後には交流会も開催し、参加企業間での交流を深めていただきました。
- ・また、お取引先のビジネスマッチングニーズに応えるべく、9月12～13日に開催された『日中ものづくり商談会@上海2012』を地方銀行等38団体と共催し、当行のお取引先13社が出展されました。

「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み（3）



（バンクネガラインドネシアとの提携調印式の様子）

アジアでも「しがぎん」ネットワークを発揮します

東南アジアでのしがぎんネットワークを強化

- ・平成24年9月6日に、当行はインドネシアの大手商業銀行である「バンクネガラインドネシア」と業務提携をいたしました。
- ・またこれに合わせ、9月5日から9日の5日間、「しがぎんインドネシア視察ミッション」を開催し、国内のお取引先および既にインドネシアに進出されているお取引先にご参加いただきました。
- ・これにより、バンコク駐在員事務所を設置したタイに加え、インドネシアでも、お取引先へのサポート体制を強化しました。

近畿で唯一海外に支店を有する地方銀行として

- ・当行は近畿で唯一、海外に支店を有する地方銀行として、香港支店で銀行業務を行っております。加えて、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、国際部アジアデスク、営業店のネットワークを活用し、お取引先のアジアにおける新たな拠点進出や販路拡大に向け、引き続きサポートしてまいります。



（しがぎんアジアネットワーク）

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（1）



(学校ビオトープの様子)

お客さまのご預金を「小学生の環境教育」に役立てます

「エコプラス定期」

- ・お客さまが当行のダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)を利用して定期預金をお預け入れいただくと、1回のお預け入れごとに7円(ダイレクトチャネル利用で不要となる定期預金申込用紙代相当額)を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただくものです。
- ・エコプラス定期は平成15年より取り扱いを開始し、平成24年9月末現在累計約203万件となっております。
- ・平成24年6月には3校に計124万円を寄贈し、平成18年度以来の助成校は累計で23校、総額1,079万円にのぼります。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（2）

PLB3原則

1. 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
2. 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立を目指します。
3. 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。



地球環境保全を真剣に考えています

「しがぎん琵琶湖原則」(PLB)

- ・お客さまと手を携え、環境保全に向けた取り組みを一層促進させるため、平成17年12月に「しがぎん琵琶湖原則」(PLB = Principles for Lake Biwa)を策定し、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めたこの原則への賛同を広く呼びかけております。
- ・「PLB」にご賛同いただいたお客さまに対し「PLB格付(環境格付)」を行い、格付評価に応じてご融資金利を最大で年0.5%引き下げする「しがぎん琵琶湖原則支援資金(PLB資金)」(平成17年12月取扱開始)を提供し、お客さまの地球環境保全への取り組みをサポートしております。
- ・PLB資金とエコ・クリーン資金の取扱開始からの累計は、平成24年9月末現在で1,967件の361億円となりました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（3）



《PLB格付BD評価項目》

分野	評価指標(概要)
経営方針	1. 「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
普及啓発・活動の公表	7. 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況
	8. 活動や成果の公表状況

お客さまに生物多様性保全を呼びかけています

「生物多様性（Biodiversity）」についての
独自の評価体系「PLB格付BD」

- ・「豊かな生物多様性の承継と自然共生社会の構築」に向けた取り組みを新たな挑戦と位置づけ、「生物多様性」について当行独自の評価体系「PLB格付BD」を策定し、平成21年11月より取り扱いを開始しました。
- ・これは、お取引先企業が生物多様性の保全活動に取り組む際の「道しるべ」となるよう、厳選した8項目で評価させていただくものです。そのうえで、企業活動において「生物多様性の保全等に対する配慮がされている」と当行が判断し、お取引先企業が「しがぎん琵琶湖原則支援資金（PLB資金）」を利用される場合、PLB格付での引き下げ幅と合わせて最大で年0.6%の金利引き下げが可能となるものです。
- ・なお、生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表したのは、全国の金融機関で初めてです。
- ・取扱開始から平成24年9月末までの間に2,641件のPLB格付BDの評価を行いました。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（４）



（当行の役職員がニゴロブナ・ワタカを放流）

お客さまのお借入を自然エネルギーの導入と
生物多様性の保全につなげます

「カーボンニュートラルローン 未来よし」

- ・自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全を目的とするサービスです。
- ・これは、お客さまが当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出するものです。
- ・なお、各商品で適用される金利プランからさらに年0.1%の金利を差し引くことで、環境保全に“志”のあるお客さまをサポートしております。
- ・これまで累計で187億円（平成24年9月末現在）のご融資をご利用いただき、平成19年度から総額870万円を公益財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈しました。これは、ニゴロブナ20万匹、ワタカ13万匹相当にあたります。

「CSRのしがぎん」に関する取り組み（5）

エコ・ファーストの約束



- 1 “お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品・サービスを積極的に推進します。
- 2 「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」を推進します。
- 3 生物多様性の保全を実現する社会づくりを推進します。

（エコ・ファーストの約束）



（森づくりサポート活動）



（外来魚駆除釣りボランティア）

環境金融と生物多様性保全への取り組みを強化

金融業界初の「エコ・ファースト企業」として認定

- ・当行は、平成20年7月に「エコ・ファーストの約束」を環境大臣に提出し、金融業界初の「エコ・ファースト企業」として認定を受けました。また、平成24年3月には、「約束」の更新を行いました。
- ・金融の役割を通じて持続可能な社会づくりに貢献するとの使命を持ち、環境に配慮したお金の流れの拡大に向けて、お客さま・地域の皆さま・役員とともに環境保全に努めてまいります。

地域に根ざした環境ボランティア活動を展開

<森づくりサポート活動>

- ・当行70周年（平成15年10月）を記念し、「びわこ地球市民の森（守山市）」に役職員が10,000本の苗木を植樹しました。苗木の生長を促すため、毎年除草や枝打ちなどの育樹活動を実施し、平成24年度は役職員等1,100名が活動に参加しました。

<外来魚駆除釣りボランティア>

- ・近年、琵琶湖では岸辺のほとんどをブラックバスやブルーギルなどの外来魚が占めるようになりました。多くの固有種が生息する貴重な琵琶湖の生態系を守る生物多様性保全の取り組みとして、「外来魚駆除釣りボランティア」を開催しております。
- ・平成24年度は役職員140名が参加し、1時間半で外来魚877匹を釣り上げ、琵琶湖の深刻な外来魚問題について理解を深めました。

地域密着型金融の推進に関する数値目標および実績について

地域密着型金融推進に関し、当行が平成25年3月末までに目指す数値目標とその進捗状況は下記のとおりです。

取り組み項目	平成25年3月末 目標	平成24年9月末 実績		地域密着型金融の推進に 関する3つの視点			
第4次長期経営計画の挑戦指標				平成24年9月末 進捗率(%)	お取引先企 業に対する コンサル ティング機 能の発揮	地域の面的 再生への積 極的な参画	地域やお客 さまに対す る積極的な 情報発信
Tier1比率(連結)	9.0%以上	9.85%					
ROE(連結)	3.5%以上	3.20%					
OHR(単体)	65%以下	69.15%					
CO ₂ 排出量 [1]	(2006年度比較) 25%削減	58.29%削減					
「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み							
「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み							
ニュービジネスサポート：コーディネート活動件数	100件	65件	65.0%				
ビジネスマッチング件数(面談設定)	2,400件	3,661件	152.5%				
事業承継提案件数	360件	427件	118.6%				
格付コミュニケーションサービスの実施回数(のべ回数)	3,400回	3,775回	111.0%				
債務者区分のランクアップ先数 [2]	60先	19先	31.6%				
中小企業再生支援協議会の活用件数	24件	27件	112.5%				
「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み							
アジアデスク・海外拠点によるサポート件数	3,600件	3,130件	86.9%				
中国進出アドバイザー契約件数	10件	3件	30.0%				
海外ミッション、海外商談会	各3回	各5回	166.6%				
海外企業とのビジネスマッチング取り組み件数	100件	82件	82.0%				
「CSRのしがぎん」に関する取り組み							
エコプラス定期	650,000件	432,069件	66.4%				
PLB資金、エコクリーン資金(件数) [3]	1,400件	475件	33.9%				
PLB資金、エコクリーン資金(金額)	180億円	111.8億円	62.1%				
PLB格付BD評価件数 [4]	3,800件	2,641件	69.5%				
災害リスクコンサルティング	100件	606件	606.0%				

- 1 CO₂排出量削減の実績値については通期のみとしているため、本欄には平成24年3月末の実績を記載しております。
- 2 債務者区分のランクアップ先数...審査部企業経営支援室が担当となり支援を申し上げる取引先(対象先220先)についてカウントします。
- 3 PLB資金 ...「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金
- 4 PLB格付BD ...生物多様性(Biodiversity)の保全活動に取り組みられるお取引先に対する当行独自の評価体系